

⑥ Recomputation based Implementations of And-Or Parallel Prolog

G.Gupta*, M.V.Hermenegildo(New Mexico State Univ. , 米国)

発表要旨

我々の主張は, PrologプログラムにおけるIndependent-AND並列及びOR並列を抽出するために, 独立したゴールの一部を再計算することに利点があるという点であり, それは, ゴールに関する解の全てを再利用することに対立するものである。我々は, PrologプログラムにおけるAND-OR並列を表現するために, Composition-treeと呼ばれる抽象モデルを与える。Composition-treeは, 幾つかのゴールを再計算する事により, それらの十分な再利用に比べ, Prologの逐次実行を厳密に反映する。我々は, Composition-treeモデルの概略をベースにしたfull PrologのAND-OR並列実行の為の, 二つの環境表現法も概説する。これらのテクニックはPrologのAND-OR並列の抽出において, 初期の提案以上に利点がある事を, 我々は主張する。

質疑応答

なし